

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1-2

令和4年1月 日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) 山形市役所(六角・荒砥)長井線 (山形市～長井市)	<ul style="list-style-type: none"> ・長井駅・新庁舎長井市役所経由の経路変更を検討。利便性向上のため運賃の見直しを検討。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・R3.10に向け、長井駅・新庁舎長井市役所を経由する経路変更および運賃下げに向け準備。長井市発行の会報に掲載してもらうなど告知・PRを図った。 ・前年度に引き続き、企画乗車券等の販売を実施。 ・沿線市町村と連携した通学支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.9回→実績:5.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:19.4人→実績:12.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も観光地と連携した商品の制作及び販売を継続・強化し、通勤通学客以外(朝夕以外の利用者)の拡大を目指していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山交ビル(荒谷・石倉)天童線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、路線見直しを検討するとともに乗降調査を継続的に行い便数の適正化等により乗車効率の増加を目指す。 ・定期券利用者の増加及び乗車率の低い地域の乗車率向上のためのPRを行う。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・ダイヤについて見直しを図り定時運行による利便性向上を図った。 ・周辺市町村と連携し、PRや利用者への支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:13.6回→実績:13.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:55.7人→実績:42.1人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して乗降調査結果を分析してダイヤ調整を行い、沿線市町村(山形市・天童市)とともに路線維持に向けた取組を推進していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山線 (山形市～上山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・山形市と上山市を結ぶ10系統について統廃合等による効率的な運行を図る。 ・県立中央病院とダイヤの更なる適正化を協議。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 ・バス車両1両購入(山形(若葉町・南山形)高松葉山線と共用) 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・次年度に向け、効率運行に向けた便数の検討。 ・スポーツセンター・県立中央病院のほか沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.6回→実績:6.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:27.0人→実績:23.7人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降調査結果を分析し、利便性の向上に努めながら、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組を継続していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山形(若葉町・南山形)高松葉山線 (山形市～上山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降調査結果を分析してダイヤ調整を行い、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組を推進。 ・沿線の観光施設と連携した取組の強化。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 ・バス車両1両購入(県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山線と共用) 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・利便性向上のため、山形駅での乗降を考慮しダイヤ改正を実施。 ・沿線の病院、スーパー、高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布し周知を実施。 ・観光施設等と連携した特典企画の継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:15.6回→実績:15.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:78.0人→実績:56.1人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降調査結果を分析し、利便性の向上に努めながら、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組を継続していく。 ・沿線の観光施設と連携した取組を今後も継続していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>山交バス(株)</p> <p>寒河江駅前(松川・左沢)宮宿線 (寒河江市～朝日町)</p>	<p>・R2.10より実施したゾーン制運賃(運賃値下げ)について、利用増進に向けたPRの実施。 ・ダイヤ等の見直しにより乗車効率の増加を図る。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線市町村の町報を利用し、町民に対し運賃値下げについてPRを実施。 ・沿線の高校への通学を考慮し、ダイヤ改正を実施。 ・引き続き、近隣の高校に路線別時刻表等を配布しPRを行った。 ・沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <p>■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.3回→実績:5.3回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:27.0人→実績:18.5人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</p>	<p>・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。</p>
<p>山交バス(株)</p> <p>寒河江駅前～谷地線 (寒河江市～河北町)</p>	<p>・便数の適正化、ダイヤの見直し等により乗車効率の増加を目指す。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。 ・バス車両2両購入(山交ビル～寒河江駅前線と共用)</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・効率運行のため便数の見直しとJR左沢線との接続を考慮したダイヤ改正を実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPRを実施。 ・沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <p>■運行回数(移動機会の確保) 計画:11.2回→実績:11.2回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:52.6人→実績:33.6人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</p>	<p>・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。</p>
<p>山交バス(株)</p> <p>山交ビル～寒河江駅前線 (山形市～寒河江市)</p>	<p>・JR左沢線の寒河江駅での接続を考慮しダイヤの見直しの検討。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。 ・バス車両2両購入(寒河江駅前～谷地線と共用)</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・JR左沢線との接続を考慮したダイヤ改正を実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を継続。 ・寒河江市内において利用促進のための乗り方教室を実施。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <p>■運行回数(移動機会の確保) 計画:19.3回→実績:19.3回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:67.5人→実績:44.3人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</p>	<p>・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。</p>
<p>山交バス(株)</p> <p>天童(東根市役所)北町線 (天童市～村山市)</p>	<p>・沿線市町村(天童市・東根市・村山市)とともに利用促進策等の取り組みを継続して推進。 ・乗車効率の増加のため、沿線の高校等へのPRの実施。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・学生の定期券利用者増を目指し、バス待合所などに定期券案内の貼り紙等を実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・沿線市町村と連携した運転免許証返納者に対する支援を継続。 ・東根市内において利用促進のための乗り方教室を実施。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>B</p> <p>■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.9回→実績:6.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:17.2人→実績:9.6人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</p>	<p>・今後も沿線市町村(天童市・東根市・村山市)とともに利用促進策等の取り組みを継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。</p>

令和 4年 1月 日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) 山交ビル(県立中央病院・高 楯)天童温泉線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> 特定の需要(運転免許センター・県立病院)がある路線であるため、維持する方向で調整。乗車人員増に向け路線のPRを図る。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 沿線市町村と連携した運転免許証返納者に対する支援を継続。 交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:3.0回→実績:3.0回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:15.0人→実績:6.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が特定の客層(県立中央病院及び運転免許センター)であることから、便数・輸送量が少ないため、路線の維持に向けた取組みを今後も沿線市町村・県と検討していく。 交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山交ビル(長岡・漆山)天童温泉 線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤの見直し等により乗車効率の増加を目指す。 沿線市町村(山形市・天童市)とともに利用促進策等の取組みを継続して推進。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の混雑時に合わせたダイヤ改正を実施。 沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 沿線市町村と連携した運転免許証返納者に対する支援を継続。 交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:22.9回→実績:22.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:80.1人→実績:52.6人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も沿線市町村(山形市・天童市)とともに利用促進策等の取組みを継続して推進する。 交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 県立病院～金山線 (新庄市～金山町)	<ul style="list-style-type: none"> 運賃値下げに伴い学生への定期券利用の促進を図る。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 明倫学園開校に伴い定期券利用の促進と乗り方教室を実施。 沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を実施。 前年度に引き続き、金山町に通学定期利用者増のための補助を依頼。 交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:9.1回→実績:9.1回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:46.4人→実績:20.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も沿線市町村(金山町・新庄市)と協力して利用促進のためのPR活動を継続する。 交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
(株)新庄輸送サービス 県立病院～肘折線 (新庄市～大蔵村)	<ul style="list-style-type: none"> 貨客混載便の継続。 観光利用の促進強化。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貨客混載の実証実験を継続して実施。 肘折温泉～新庄間の往復乗車券の販売を継続。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.6回→実績:5.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:17.3人→実績:12.3人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 貨客混載便は、実証実験から需要が有り、高齢化や輸送業の人手不足から益々需要が見込まれることから、新規の計画も立案し事業の継続を図る。 継続して観光利用の促進強化を図る。

令和 4年 1月 日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
庄内交通株 鶴岡(モール・イオン三川、日本海病院)酒田線 (鶴岡市～酒田市)	<ul style="list-style-type: none"> 沿線の2市1町(鶴岡市・酒田市・三川町)と利用実態及び地域需要に見合ったダイヤ等を検討。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線市町と時間帯ごとの利用実態の把握・共有を行い、需要の有無を確認し、ダイヤ等を検討。 ・今後の路線維持のため、沿線市町に対し、路線の必要性の検討及び路線維持にあたる経費の確保について依頼。 ・「学生100円バス」を継続して設定し、高校における利用促進課題研究授業への協力を行った。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:7.2回→実績:7.2回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:20.8人→実績:21.6人 ■達成状況 運行回数、輸送量とも実績が計画を上回っており、目標は達成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域需要に見合った路線形態を沿線市町(鶴岡市・酒田市・三川町)と協議し、利便性の高い路線を目指す。 ・収益の向上のため路線再編を実施。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
庄内交通株 鶴岡(ゆぽか)羽黒山頂線 (鶴岡市～旧羽黒町)	<ul style="list-style-type: none"> 鶴岡市と利用実態及び地域需要に見合ったダイヤ等を検討。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・鶴岡市と時間帯ごとの利用実態の把握・共有を行い、需要の有無を確認。 ・観光利用のシーズン増減を鑑みたダイヤ及び便数の変更について検討。 ・今後の路線維持のため、鶴岡市に対し、路線の必要性の検討及び路線維持にあたる経費の確保について依頼。 ・「学生100円バス」を継続して設定し、高校における利用促進課題研究授業への協力を行った。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.6回→実績:6.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:25.7人→実績:10.5人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域需要に見合った路線形態を鶴岡市と協議し、利便性の高い路線を目指す。 ・収益の向上のため路線再編を実施。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。

※生産性向上の取組については別紙「地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(様式1-5-2)」を参照ください。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	1	山形市役所(六角・荒砥)長井	山形市役所前	六角荒砥	道の駅川のみなと長井	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①R3.10に向け長井駅・新庁舎長井市役所経由の経路変更を検討。</p> <p>②R3.10に向け利便性向上のため運賃の見直しを検討。</p> <p>③R4.交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・長井市・白鷹町・南陽市・上山市・山形市</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増 2,975名×110円=327千円 327千円/21,821千円=1.5%</p> <p>【取組効果】 減収減員 乗車人員:-3,408名 収入:-409千円</p>	<p>①R3.10に向け新たに長井駅・新庁舎長井市役所を経由する経路変更および運賃値下げに向け準備。長井市発行の会報に掲載してもらうなど告知・PRを図った。</p> <p>②「長井・白鷹⇄山形」の往復乗車券と「フラワー長井線」の1日乗車券、道の駅「川のみなと長井」でのお買い物券をセットにした企画乗車券を昨年度に引き続き販売。</p> <p>③昨年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企画商品を作成。(長井市内協定施設2件)</p> <p>④長井線限定の路線別時刻表を作成し主要ターミナル・管内のコミュニティセンター・バス車内に置いてPR告知を図った。(R3.4)</p> <p>⑤白鷹町と通学定期券補助制度を継続して実施。</p> <p>⑥交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-409,744	648,831	34.2%	33.2%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績欄には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	2	山交ビル(荒谷・石倉) 天童	山交ビルバスターミナル	荒谷石倉	天童駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①路線見直しを検討するとともに乗降調査を継続的に 行い便数の適正化等による乗車効率の増加を目指す。 ②朝夕の定期券利用者が多いことから定期券利用者の 増加を図るPRを実施する。 ③乗車率の低い天童市内の利用促進を図るためバス 停周辺の地区において利用促進PRを実施する。 ④交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・天童市</p> <p>【効果目標】 増収率1.8%増 3,460名×184円=636千円 636千円/35,345千円=1.8%</p>	<p>①ダイヤについて見直しを図り定時運行による利便性 向上を図った。(R3.4)</p> <p>②山形・天童市内の公民館・沿線の病院・スーパー・ 高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を 実施した。</p> <p>③前年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企 画商品を作成した。(天童市内協定施設7件)</p> <p>④天童市と運転免許証返納者支援策を継続して実 施。</p> <p>⑤交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 増収増員 乗車人員:-20,595名 収入:-2,631千円</p>	【今後の方向性】 交通系IC カードをR4～ に導入予定。	-2,631,343	805,411	57.7%	52.7%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績欄には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	3	県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山	県立中央病院	表蔵王口 四谷	高松葉山 温泉	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①山形市と上山市を結ぶ系統が10系統存在するため、統廃合などにより効率的な運行を図る。県立中央病院とタイヤの更なる適正化を協議する。</p> <p>②交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・上山市</p> <p>【効果目標】 増収率1.2%増 1,240名×188円=233千円 233千円/19,391千円=1.2%</p>	<p>①R4年度に向け効率運行に向けた便数の検討。</p> <p>②スポーツセンター・県立中央病院のほか沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した(R3.4)</p> <p>③前年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企画商品を作成した。(上山市内協定施設10件)</p> <p>④交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 増収増員 乗車人員:-863名 収入:486千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	486,195	371,142	59.0%	59.8%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	4	山形(若葉町・南山形)高松葉山	千歳公園待合所	若葉町・南山形	高松葉山温泉	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①乗降調査を継続的に実施し便数の適正化等により乗車効率の増加を目指す。</p> <p>②沿線の黒沢温泉施設との接続性をPRし、路線バスを利用した日帰り入浴の商品企画を検討する。</p> <p>③利用拡大のための住民説明会や乗り方教室を実施する。</p> <p>④交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス㈱・山形市・上市市</p> <p>【効果目標】 増収率1.0%増 2,170名×217円=470千円 470千円/47,134千円=1.0%</p>	<p>①利便性向上のため、山形駅での乗降を考慮しダイヤ改正を実施。(R3.4)</p> <p>②前年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企画商品を作成した。(沿線の黒沢温泉施設も継続して加盟)</p> <p>③沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した(R3.4)</p> <p>④交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 減収減員 乗車人員:-17,056名 収入:-2,222千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-2,222,242	833,341	68.2%	64.2%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	5	寒河江駅前 (松川・左沢) 宮宿	寒河江 駅前	松川・ 左沢	朝日町 役場前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①R2.10より実施したゾーン制運賃(運賃値下げ)について、利用増進に向けたPR。</p> <p>②ダイヤ等の見直しにより乗車効率の増加を目指す。</p> <p>③交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・寒河江市・大江町・朝日町</p> <p>【効果目標】 増収率2.0%増 1,817名×147円=267千円 267千円/13,342千円=2.0%</p>	<p>①朝日町の町報を利用し、町民に対し運賃値下げについてPRを図った。</p> <p>②左沢高校への通学を考慮し、ダイヤ改正を実施。(R3.4)</p> <p>③左沢高校・寒河江工業高校・寒河江高校・谷地高校へ路線別の時刻表等を配布しPRした。(R3.4)</p> <p>④朝日町と通学定期補助制度を継続して実施。</p> <p>⑤朝日町・大江町と高齢者外出支援制度を継続して実施。</p> <p>⑥寒河江市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。</p> <p>⑦交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 増収増員 乗車人員:-4,175名 収入:-2,943千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-2,943,634	-482,859	46.2%	36.6%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績欄には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	6	寒河江駅前～谷地	寒河江駅前		ひなの湯・産直センター前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①便数の適正化、ダイヤの見直し等により乗車効率の増加を目指す。</p> <p>②交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・寒河江市・河北町</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増 1,485名×160円=237千円 237千円/15,801千円=1.5%</p>	<p>①効率運行のため便数の見直しとJR左沢線との接続を考慮し、ダイヤ改正を実施。(R3.4)</p> <p>②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表等を重点的に配布しPRした。(R3.4)</p> <p>③河北町と通学定期補助制度を継続して実施。</p> <p>④寒河江市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。</p> <p>⑤交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 増収増員 乗車人員:-12,346名 収入:-2,308千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-2,308,958	-500,426	50.4%	43.7%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	7	山交ビル～寒河江駅前	山交ビル バスターミナル	中山	寒河江駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①JR左沢線の寒河江駅での接続を考慮しダイヤの見直しを図る。</p> <p>②交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・中山町・寒河江市</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増 4,140名×151円＝625千円 625千円/41,640千円＝1.5%</p>	<p>①JR左沢線との接続を考慮し、ダイヤ改正を実施。(R3.4)</p> <p>②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。(R3.4)</p> <p>③前年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企画商品を作成。</p> <p>④寒河江市内の育児サークルで乗り方教室を実施。(R3.11)</p> <p>⑤寒河江市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。</p> <p>⑥交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-3,013,810	507,373	47.4%	43.8%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	8	天童駅前 (東根市役所) 村山北町	天童駅前	東根市役所前	北町	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①沿線にある村山産業高校・村山特別支援学校などとダイヤや便数について検討。</p> <p>②交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス㈱・天童市・東根市・村山市</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増 1,390名×108円=150千円 150千円/9,943千円=1.5%</p>	<p>①学生の定期券利用者増を目指し、バス待合所などに定期券案内の貼り紙を掲出。</p> <p>②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。(R3.4)</p> <p>③東根市内の小学校で乗り方教室を実施。(R2.10)</p> <p>④天童市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。</p> <p>⑤交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 増収増員 乗車人員:-4,422名 収入:-1,327千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-1,327,231	389,573	34.1%	29.1%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	9	山交ビル(県立中央病院・高掬)天童温泉	山交ビルバスターミナル	県立中央病院・高掬	わくわくランド	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>① 運転免許センター・県立病院の特定ニーズのある路線(輸送量はぎりぎりの路線)のため、維持する方向で調整。乗車人員増に向け路線のPRを図る。</p> <p>② 交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】</p> <p>山交バス㈱・山形市・天童市</p> <p>【効果目標】</p> <p>運行回数 3.0回維持 輸送量 乗車密度5.0人×3.0回=15.0人確保</p>	<p>① 沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。(R3.4)</p> <p>② 前年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企画商品を作成した。(天童市内協定施設7件)</p> <p>③ 天童市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。</p> <p>④ 交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】</p> <p>運行回数 3.0回維持 輸送量 6.9人</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	313,555	235,658	37.9%	39.9%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	10	山交ビル(漆山)天童温泉(長岡)天童温泉	山交ビルバスターミナル	漆山長岡	わくわくランド	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①ダイヤの見直し等により乗車効率の増加を目指す。 ①山形県総合運動公園・NDスタジアムヘチランを配布しPRを行う。 ②交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・天童市</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増 4,400名×147円=647千円 647千円/43,185千円=1.5%</p>	<p>①朝の混雑時に合わせダイヤの見直しを図った。(R3.4) ②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。(R3.4) ③前年度に引き続き、路線バス利用者限定の特典企画商品を作成した。(天童市内協定施設7件) ④天童市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。 ⑤交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】 増員増収 乗車人員:-10,965名 収入:-2,742千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-2,742,182	442,057	46.1%	43.0%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	11	県立病院～金山	県立病院前	泉田	金山	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①金山線の運賃値下げに伴い学生への定期券利用の促進を図る。</p> <p>②交通系ICカード導入予定。</p> <p>【実施主体】</p> <p>山交バス(株)・新庄市・金山町</p> <p>【効果目標】</p> <p>増収率3.0%増 $3,505名 \times 105円 = 368千円$ $368千円 / 12,289千円 = 3.0%$</p>	<p>①北辰小学校の廃校により新しく明倫学園に通う生徒を対象に金山線利用のための定期券の案内と乗り方教室を実施。(R3.3)</p> <p>②昨年に引き続き、通学定期利用者増のため金山町に対し、定期券購入者に対する補助制度のお願いを行った。(R3.5)</p> <p>③新庄市と運転免許証返納者支援策と通学定期券補助制度を継続して実施。</p> <p>④交通系ICカード導入に向けた準備。(R4.導入予定)</p> <p>【取組効果】</p> <p>増員減収 乗車人員:-11,013名 収入:-1,872千円</p>	【今後の方向性】 交通系ICカードをR4～に導入予定。	-1,872,859	542,867	33.1%	27.7%
							目標未達成					

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	株式会社新庄輸送サービス
------	--------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	12	県立病院～肘折線	県立病院	清水	肘折温泉待合所	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①貨客混載：スーパー等と連携した買い物代行サービスについて検討。(平成30年3月まで)</p> <p>②路線再編：新幹線到着時間に合わせたダイヤ改正(増便 6⇒7便へ)(平成30年3月まで)</p> <p>③混乗化：本路線に対する村営スクールバスの接続改善(平成30年3月まで)</p> <p>④観光利用促進：日帰り温泉パック等の商品開発(平成30年3月まで)</p> <p>【実施主体】 株式会社 新庄輸送サービス (大蔵村)</p>	<p>【取組実績】</p> <p>①平成30年5月より実証実験実施したが商業ベースに至らず、但し需要あり輸送支援で継続中。(136件/年、11件/月)</p> <p>②平成29年4月より実施済み。</p> <p>③平成30年4月より実施済み。本幹線に接続する支線のダイヤを改正。</p> <p>④平成30年4月より肘折温泉-新庄間の往復券(8%引き)を作成し運用継続。(2739枚、売上3,012千円)</p> <p>【取組効果】</p> <p>②③④の取組継続今年度は、新型コロナ等の発生もあり利用者、運賃収入、輸送量共に減となる。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>路線近郊の乗客人数も頭打ちにあり、観光客を主とした他の乗客需要の掘り起こしの新規改善が必要。</p>	▲391千円 (-5.6%)	1,044千円 (2.8%)	18.61%	17.07%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	庄内交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	13	鶴岡(モール・イオン三川・日本海病院)酒田	外内島	エスモール・イオン三川・日本海総合病院・イオン酒田南店	ゆたか1丁目	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利用実態及び地域需要に見合った路線形態の検討 ②『つるおか1日乗り放題券』の拡販 ③『学生100円バス』の利用者拡大 ④高齢者・観光利用者の利用促進の為、路線別時刻表の作成及び配布(令和2年3月より) ⑤利便性向上のためバスロケーションシステム導入(令和1年12月)</p> <p>【実施主体】</p> <p>①庄内交通(株)、鶴岡市、酒田市、三川町 ②庄内交通(株)、鶴岡市 ③庄内交通(株)、鶴岡市 ④庄内交通(株) ⑤庄内交通(株)</p> <p>【効果目標】</p> <p>②～⑤の取組により、利用者1,100人増を見込む。増収率1.0%増とする。</p>	<p>【取組実績】</p> <p>①各自治体と問題提起を実施し、令和3年10月1日路線再編 ②各所へ案内チラシの配布、駅前や販促イベントでの告知 ③バス車内へのポスター掲示(鶴岡管内路線バス40両)、県立高校での利用促進課題研究授業への協力 ④時刻表の作成(令和3年3月) 路線別時刻表はエスモールバスターミナルや駅前へ設置しHPへも掲載(令和3年4月) ⑤各バス停留所へバスの走行位置情報を入手できるQRコードを掲示し、当該バス停へのバスの接近情報が入手可能となる</p> <p>【取組効果】</p> <p>②について、前年比 ▲1,791千円の減収(全社実績) ③について、前年比 ▲70回の利用回数減少(全社実績) ④について、高齢者定期券 前年比 ▲1,425千円の増収(全社実績)</p>	【今後の方向性】 令和3年10月1日、路線再編を実施し、収益を向上させる。	1,135,148	▲ 2,038,660	36.38%	39.05%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	庄内交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R3年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R2年度比 収入増減額	対R2年度比 費用増減額	R2年度 収支率	R3年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	14	鶴岡(ゆぼか)羽黒山頂	エスマール	ゆぼか・荒川	羽黒山頂	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利用実態及び地域需要に見合った路線形態の検討 ②『つるおか1日乗り放題券』の拡販 ③『学生100円バス』の利用者拡大 ④高齢者・観光利用者の利用促進の為、路線別時刻表の作成及び配布(令和2年3月より) ⑤利便性向上のためバスロケーションシステム導入(令和1年12月)</p> <p>【実施主体】</p> <p>①庄内交通(株)、鶴岡市、酒田市、三川町 ②庄内交通(株)、鶴岡市 ③庄内交通(株)、鶴岡市 ④庄内交通(株) ⑤庄内交通(株)</p> <p>【効果目標】</p> <p>②～⑤の取組により、利用者1,600人増を見込む。増収率1.0%増とする。</p>	<p>【取組実績】</p> <p>①各自治体と問題提起を実施し、検討を開始 ②各所へ案内チラシの配布、駅前や販促イベントでの告知 ③バス車内へのポスター掲示(鶴岡管内路線バス40両)、県立高校での利用促進課題研究授業への協力 ④時刻表の作成(令和2年3月) 路線別時刻表はエスマールバスターミナルや駅前へ設置しHPへも掲載(令和2年4月) ⑤各バス停留所へバスの走行位置情報を入手できるQRコードを掲示し、当該バス停へのバスの接近情報が入手可能となる</p> <p>【取組効果】</p> <p>②について、前年比 ▲1,791千円の減収(全社実績) ③について、前年比 ▲70回の利用回数減少(全社実績) ④について、高齢者定期券 前年比 ▲1,425千円の増収(全社実績)</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>令和3年10月1日、路線再編を実施し、利便性および収益を向上させる。</p>	▲ 5,700,051	211,135	41.78%	27.76%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。